

声明、こぶし

声明は仏教音楽ですから、一般庶民が楽しんで歌ったものではありません。しかしながら、一般庶民が楽しんだ音楽や文化には、たしかに影響を与えています。たとえば中世の日本では、平曲、説経節といった、節をつけて物語を語る芸能が幅広く行われました。大原にゆかりの深い『平家物語』も、琵琶法師と呼ばれる盲目の芸能者が、琵琶を弾きながら歌い、語り継いでいったものです。そのメロディーや歌い方には、声明の影響があると考えられています。こうした文化は、現代にもまだ名残をとどめています。演歌と呼ばれる日本の歌謡曲には、「こぶし」と呼ばれる独特の歌い方がありますが、これには声明の影響が感じられます。漢詩にメロディをつけて歌う「詩吟 shigin」は江戸時代に始まって近代に大流行し、現代でもたくさんのグループにより親しまれていますが、これにも声明の影響を認めることができます。